

# 3学年通信

## Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

3 学年通信 No.75 通算 255 号

2018. 1. 25 (木) 克己復礼

Dreams Come True 41 2018/1/12 -14 横山

今日（12 日の金曜日）はセンター試験激例会を行った。3 年生諸君は皆、凛々しくも笑顔でこの日を迎えることができたのを嬉しく思う。横戸校長先生からは「青く澄みわたる青空と吾妻山、そして白い雲のコントラストが美しい。まるで、諸君の門出を祝うかのようです」とお話し頂いた。今日は今までに無い位に素敵なイイお天気で、私も「絵のような風景」に見惚れてしまいました。一昨日の大雪の夜、NHKで「山形米沢は 80cm」と日本第 2 位のテロップが流れていました。そんなに降ったかな、と思うのですが四国や九州がほんの数 cm の積雪で大騒ぎしている映像を見ると「私達、実は凄いとこに住んでいるのかもしれないナ」なんて思ったりします。冬は通勤も通学も不便です。冷たいし寒いし家の周りの除雪も大変です。そのような長く暗い冬を過ごすからでしょうか、今日のように「稀な天気」には感動し心打たれるのです。もしかすると私達は「幸福を感じるレベル」が標準より低いところにあるのでしょうか。そんな風に考えたりもするのです。

例えば金銭感覚もそうかもしれません。このような地域では大きな会社も少なく、決して裕福な家庭ばかりではありません。今思えば、我が家も含めて近所も友達の家もみんな貧乏でした。でも、みんなそうだったので「そんなもんだらう」と何の疑問も感じませんでした。でも、大学生になって故郷を離れて感じることもあるわけです。冬でも長靴を履かない人達を見て「雪降らないところあるんだ」とか、学生なのに車を乗り回す同級生を見て「お金持ちっているんだ」という驚きです。私は何事にも固執しない人に育ったので気にしませんが、そんなとき「俺は金持ちになってやる」と奮起する人がいて良いと思うのです。言い難いことですが、一般的に「貧乏から抜け出してやる」という思いは何物にも勝るエネルギーになると思うのです。少なくとも昭和の時代はそうでした。漫画の主人公は、家庭的に恵まれない子供がほとんどでした。今はそのようなバックボーンで描くことを躊躇されるような風潮もありますが、決して貧しい家庭が減ったわけでは無いのです。その戸数や格差は以前より大きくなっているはずですが、それは現在日本の抱える大きな課題です。加えて私が危惧するのは「気持ちが悪くなっていないか」ということです。ちょっと昔（昭和の頃は）皆、お金は無かったけれど精神的には決して貧しくなかったと思うのです。また、どの家もそれなりに「楽しい我が家」だったとも思うのです（参考映画『ALWAYS 三丁目の夕日』）。昨今世の中に流れるニュースを見ると、そのことがすごく気がかりになのです。それは多くの情報を得ることができるがゆえの杞憂かもしれません。実は以前とそう変わっていないのかもしれませんが、しかし、私は「自分が肌で感じることを大切にしたいと思うのです。データ分析から得られる客観的情報は有益ですし大多数の意見は尊重しなければなりません。そこで「感じる」や直感や印象といった漠然とした個人の感覚には何の論拠も説得力もありません。しかし今、「目に見える事象」だけが大手を振って闊歩しているような、そんな空気を肌で感じてしまうのです。そのことと個々の気持ちの持ちようは無関係ではないと思えるのです。う～ん、とても難しいテーマだ。続かないかも？

左は 3 年生諸君がセンター試験受験中に書いたものです。今読むと「なんでこんなことを？」と自分でもよくわかりません。あれから約 10 日。翌日の自己採点、予餞会、2 次講習、金曜土曜と夜を徹して議論した出願検討会（ちょっと押し付けがましい？）、日曜日の早朝からずっと生徒諸君と保護者、担任による三者面談が続きました。ある程度出願先が決定した今、何かを書き伝えねばと「感じた」のです（24 日の午後）。それで次期発行予定の通信原稿を開いたところコレだったというわけ。全削除しようと思ったのだけれど、センター前タッペイ先生が「生きる」をテーマとした投稿で「必ず結論に結びつく」と書かれていたので残したのです。結びにローマに通じるかどうかはわかりません。けれど、この文は誰も書いたことの無いものですから、誰にも結果はわかりません。不安との戦いです。何となく今の 3 年生諸君の状況に近づいてきているような気がしない？

高校生活の大きなターニングポイントであるセンター試験。翌日の学年集会で 198 名全員が無事受験できたことを喜びました。諸君は当たり前のことだと思ってしまうでしょうが、オッサンになるとこのような当たり前も「幸せ」と感じることができるのです。まずは第 1 関門クリアーです。そして出願大学検討。おそらく、担任との面談やご家庭でも今までに無い「辛辣な話し合い」がなされて決定したことでしょう。様々な経過や紆余曲折があり決めた大学。それが「アナタの第一志望」です。もう何も迷わないことです。その大学をアナタの母校とするために、今日から全ての時間を「学び」に捧げるのです。そのために、下記のような受験・事務手続きはとっとと済ませておくことです。

- \* 願書はとっとと送る。丁寧に書けば合格できるものじゃない。不備やミスはダメだけど。もし、記入上の不明な点があれば担任の先生に相談する。まずは速攻送る or 持参する。
- \* とっとと宿泊予約する。こちらは費用もかかるので保護者の方にご協力をお願いします。今後出願変更等のキャンセルも見込まれます。ここは保護者の方に力添え頂く場面か？
- \* JR 利用の場合は学割を請求する。こちらの用紙は事務室前にある。担任先生の印必要。すぐに出ないので早目に手続きする。既に手続きしている人もいる。先を見る目を持つ。
- \* 受験大学の過去問題を得る。問題（赤本など）を探したりコピーする時間は最低限にする。過去問は出題の傾向を知り「対策を練る」ためにある。この対策が合否を分けると私は思う。

要は「なるべく早期に学びに専念できる環境を作る」こと。それは特に今年は重要な要素となる。つまり今年は最も早いセンター試験だった。ゆえに今年はセンター試験から前期試験までが最も長い年である。受験生がセンター試験後「40 日間が与えられる」のは史上初のこと。2 次試験までの準備期間が長いので実質的ウェイトが過去最大となる。だから「過去に無い程の逆転が起こる年」になることは間違いない。センターで上手くいかなかった人。チャンスだ。大逆転を起こすことができる。センター取れて判定が良くてのんびりしている人。ヤバイ。逆転される。そんな人はないだろうがオッサンの老婆心だ。しかし、センターで失敗した人ほど、その悔しさをバネに必死で頑張るはずだ。3 年生諸君にも目の色変えてやっている人がいる。きっと逆転し勝てると信じる。結び。何があっても第一志望を実現させよ。センターの結果や各社の判定などは一切気にするな。今日から前期試験まで 31 日、その後は中後期試験まで 2 週間。今の一刻一刻全て学びに専念せよ。日本一の学びを実践すれば負けるはずが無い。2 次試験で受験者中 1 番の成績を取ってみろ。1 番が負けるはずがない。絶対合格する。今突然に思い出した。米興旧校舎の論語の一節「克己復礼」は「他者に勝つのでは無く己に克つ」そして「謙虚にして積極的に生きる姿勢こそ全ての向上の源泉だ」当時の学年主任から教わった。受験も人生もかくありたい。1 つ後輩諸君に伝えたぞ！**結**

# 平成29年度 3学年「卒業までの予定」

2018年1月23日(火)

授業 → 授業で学んだことは、その時間内に解決する → 先生にしつこく質問・納得 → 明日に残さない。明日やろうは？

家庭学習 → 放課後・講習の午後・休日の学習場所を確定し計画的に学ぶ → 米興・山大・ナセバの時間確認 → 家がベスト！

	月 / 日 (曜)		授 業 内 容 な ど	備考
1	1/ 22 (月)		2次講習 ~18:30	国公立大の個別(2次)試験出願開始
2	1/ 23 (火)		2次講習 ~18:30	
3	1/ 24 (水)		2次講習 ~18:30	FS表現Ⅲ
4	1/ 25 (木)		2次講習 ~18:30	
5	1/ 26 (金)		2次講習 ~18:30	
6	1/ 27 (土)	土曜日	学校開放7:30~16:30	
8	1/ 28 (日)	日曜日	学校開放7:30~16:30	
9	1/ 29 (月)		2次講習 ~18:30	職員会議
10	1/ 30 (火)		2次講習 ~18:30	
11	1/ 31 (水)		2次講習 ~18:30	国公立大の個別(2次)試験出願締切
12	2/ 1 (木)		2次講習 ~18:30	
13	2/ 2 (金)		2次講習 ~18:30	
14	2/ 3 (土)	土曜日	学校開放7:30~16:30	2年小論文模試・2年ハイレベル模試
15	2/ 4 (日)	日曜日	学校開放7:30~16:30	
16	2/ 5 (月)		2次講習 ~18:30	
17	2/ 6 (火)		2次講習 ~18:30	
18	2/ 7 (水)		2次講習 ~18:30	
19	2/ 8 (木)		2次講習 ~18:30	
20	2/ 9 (金)		2次講習 ~18:30	
21	2/ 10 (土)	土曜日	学校開放7:30~16:30	2年進研マーク・1年ハイレベル模試
22	2/ 11 (日)	日曜日	学校開放7:30~16:30	建国記念日
23	2/ 12 (月)	振替休日	学校開放7:30~16:30	

	月 / 日 (曜)		授 業 内 容 な ど	備考
24	2/ 13 (火)		2次講習 ~18:30	
25	2/ 14 (水)		2次講習 ~18:30	FS表現Ⅳ 一斉退校日
26	2/ 15 (木)		2次講習 ~18:30	
27	2/ 16 (金)		2次講習 ~18:30	
28	2/ 17 (土)	土曜日	学校開放7:30~16:30	
29	2/ 18 (日)	日曜日	学校開放7:30~16:30	
30	2/ 19 (月)		2次講習 ~18:30	短縮45分授業 職員会議
31	2/ 20 (火)		2次講習 ~18:30	
32	2/ 21 (水)		2次講習 ~18:30	
33	2/ 22 (木)		2次講習 ~18:30	
34	2/ 23 (金)		2次講習 ~18:30	
35	2/ 24 (土)	土曜日		
36	2/ 25 (日)	日曜日	国公立大学前期試験(~26日)	
37	2/ 26 (月)			
38	2/ 27 (火)			
39	2/ 28 (水)			
40	3/ 1 (木)		同窓会入会式・卒業式準備	
41	3/ 2 (金)		卒業式(午後)	国公立大学前期合格発表(~10日)
42	3/ 3 (土)	土曜日		
43	3/ 4 (日)	日曜日		
44	3/ 5 (月)	振替休日		
45	3/ 6 (火)		後期講習スタート! (~8日)	
46	3/ 7 (水)			
47	3/ 8 (木)		公立大中期試験	
48	3/ 9 (金)		入選準備のため10時位で学校閉鎖	
49	3/ 10 (土)		高校入選(終日校舎立ち入り不可)	
50	3/ 11 (日)			
51	3/ 12 (月)		国公立大学後期試験	終日校舎立ち入り不可
52	3/ 13 (火)			終日校舎立ち入り不可
53	3/ 14 (水)			
54	3/ 15 (木)			
55	3/ 16 (金)		1・2年合格体験を聴く会	
	3/20~23		国公立大学中後期合格発表日	